

## 実体と映像を融合させたバーチャル空間で 新感覚のエンターテインメントを届ける



### 松竹芸能株式会社 様 アメリカザリガニ平井の メタバース劇場

導入時期：2022年9月  
導入地域：関西

#### 課題

・お客様に新感覚の漫才・コントを提供して心斎橋エリアの経済価値を向上させたい

#### 解決策

・VRテクノロジーを駆使したバーチャル空間を作成し、お客様に提供  
・高輝度プロジェクター、超短焦点レンズでメッシュスクリーンに映像を投写

“  
エンターテインメントとテクノロジーを  
組み合わせて、ひとつの舞台、空間を  
実体と映像で共有する、面白い企画に  
なっと思ったと思います。  
”

松竹音楽出版株式会社  
新規事業開発室長  
常務取締役 李 信雨 様

#### 背景

お客様に足を運んでもらうための“新しい企画”を求めて

2022年9月27日、大阪心斎橋のDAIHATSU 心斎橋角座にて『アメリカザリガニ平井のメタバース劇場』が開催されました。この背景には、松竹グループの各社様、株式会社NTTドコモ様、パナソニック コネクト株式会社が協創している“ばーちやるXプロジェクト”という取り組みがあります。「ばーちやるXプロジェクト」とは、街と街を構成する商業施設のReブランディング、経済価値の向上につながる施策の開発を行なっているプロジェクトです。お客様に劇場へ足を運んでもらうため、今まで見たことのない新しいエンターテインメントを届けたいという思いが今回の企画の発端です」(松竹音楽出版株式会社 李 信雨様)

#### 導入した理由

高輝度プロジェクターとメッシュスクリーンを組み合わせる

今回の『アメリカザリガニ平井のメタバース劇場』では、パナソニックの高輝度プロジェクターPT-RQ35KJと、特殊な加工がされた網目のメッシュスクリーンを活用した、大阪松竹座にいる演者の映像をネットワーク接続してリアルタイムで心斎橋角座の舞台上に映像を映し出す技術を採用されました。メッシュスクリーンに映像を投写することで3Dの映像を生み出します。「高輝度プロジェクターとメッシュスクリーンの組み合わせをパナソニック様にご提案いただき、さらにそこにお笑いエンターテインメントとテクノロジーが加わることで、ひとつの舞台で実体と映像が共存する、非常に新しい企画になるのではないかと思います」(李 様)

#### 大阪・道頓堀で江戸時代からの歴史を誇る劇場施設

DAIHATSU 心斎橋角座は大阪市中央区東心斎橋にある松竹芸能株式会社様運営による劇場です。お笑いの他、演劇、ライブイベントなど多様なジャンルの公演が行われています。今回バーチャル技術を用いたエンターテインメントに着目され、大阪松竹座から心斎橋角座へリアルタイムで映像を繋ぐ『アメリカザリガニ平井のメタバース劇場』が開催されました。

- 所在地 大阪市中央区東心斎橋1丁目19-11号 鰻谷スクエア B1F
- URL <https://www.shochikugeino.co.jp/kadoza/>



▲ 2019年1月1日にDAIHATSU 心斎橋角座として新たに開業

# プロジェクター

## 導入後の効果

### お客様に驚きと感動を与える お笑いエンターテインメントとテクノロジーの融合

今回の公演では、大阪松竹座で撮影されたバーチャル映像をリアルタイムでネットワーク接続しながら、心齋橋角座のメッシュスクリーンに映し出し、実空間と融合。演者の衣装や舞台背景を瞬時に切り替える演出などを取り入れることで、従来公演よりも幅広い表現手法を駆使した新感覚のエンターテインメントを提供されました。「客席から観ると、心齋橋角座にいる実在の演者と大阪松竹座から伝送される演者の映像が組み合わせり、あたかも一緒に演じているように感じます。これによって、AR(仮想現実)を舞台上で再現しようと思いました」(李様)

心齋橋角座では、高輝度プロジェクターPT-RQ35KJを設置。超短焦点レンズET-D75LE95を組み合わせることで、ステージのすぐ近く、且つお客様の視界を妨げない位置にプロジェクターを設置することが可能となりました。PT-RQ35KJは30,500lmの高輝度のため、メッシュスクリーンに映像を投写する際の視認性が確保できています。

「私を含む関係者が初めて高輝度プロジェクターとメッシュスクリーンで映し出される映像を見たときの驚きや感動を、同じようにお客様も感じてくださっていたと実感しています。それが非常に嬉しく、感動を覚えました。実体と映像で空間を共有する舞台は、おそらく日本で初めての企画だと思います」と李様は公演当日のお客様の反応を振り返られました。

### 新たなエンターテインメント体験の 今後の可能性を見出す

本公演の主演・演出を担当された、松竹芸能株式会社 アメリカザリガニ平井 善之様は「(プロジェクターで投写された映像が)かなり綺麗ですね。ライブで使うプロジェクターのイメージがありました。配信にも向いていると思いました」と語られます。プロジェクトが始動し、プロジェクターを実際に使用されてからも、高輝度DLP®方式のプロジェクターの投写により映像内の文字がはっきりと見えたこと、カメラで撮影した映像が綺麗に投写されていたことをご評価いただきました。「CGをうまく使っていくことで、コミカルな表現が実現できるため、お笑いとも相性が良く、うまくシンクロするのではないかと考えています」とテクノロジーとお笑いエンターテインメントの組み合わせによる効果、今後の可能性を見出されました。

#### ■心齋橋 角座



▲ 来場者は演者の扮する動物たちとの双方向のコミュニケーションを楽しめる。大阪松竹座で撮影された演者の映像を、リアルタイムでバーチャル映像に変換し、心齋橋角座に配信する「3D Dress-up システム(株式会社NTTドコモ様提供)」を活用。

#### ■大阪松竹座 B1F会議室



▲ メッシュスクリーンに投写された鮮やかで明るい映像が、現実と融合しバーチャル空間を作り上げる。



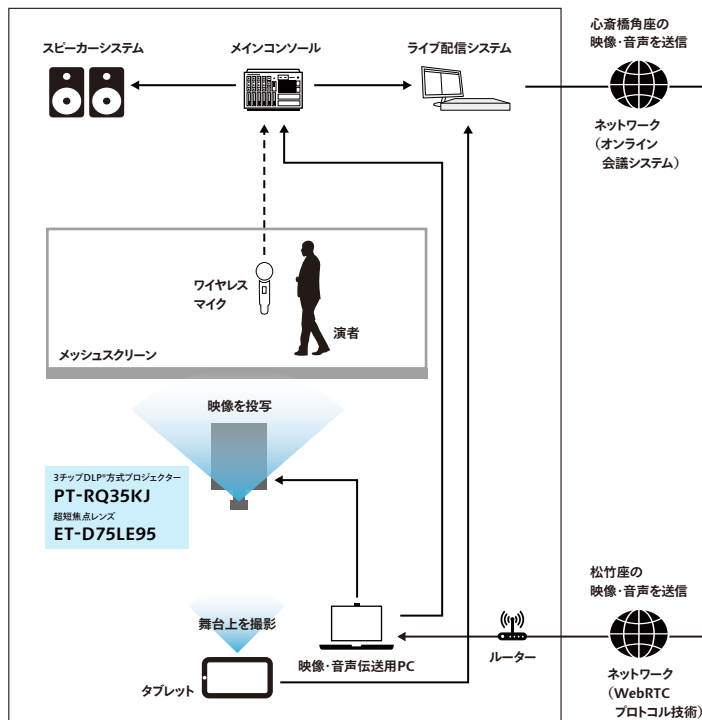
▲ 心齋橋角座に設置されたPT-RQ35KJ。30,500lmの高輝度で、メッシュスクリーンに投写した映像の視認性を確保。



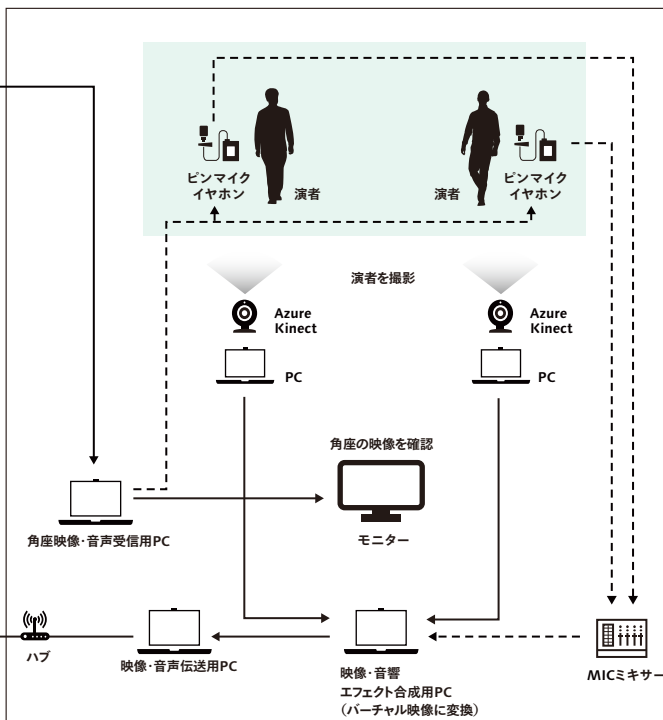
▲ 超短焦点レンズET-D75LE95を活用し、上に向かって映像を投写することで、省スペースでの設置を実現。

## アメリカザリガニ平井のメタバース劇場 オペレーション・システム図

### DAIHATSU 心斎橋角座



### 大阪松竹座 B1F会議室



### 納入機器



3チップDLP\*方式プロジェクター  
PT-RQ35KJ × 1台



超短焦点レンズ  
ET-D75LE95 × 1台



▲大阪松竹座にて、演者がAzure Kinectの前でパフォーマンスを行う様子。

### 今後の展望

#### 大阪の街を賑やかにする施策を発信し続ける

「株式会社NTTドコモ様、パナソニック コネクト株式会社様、松竹グループが一緒になった”ばーちやるXプロジェクト”は非常に大きなコラボレーションになりました。今回のプロジェクトで特筆すべきは関西発だということです。松竹グループはもともと京都を拠点とした会社で、パナソニック コネクト株式会社様は大阪に拠点をもち、株式会社NTTドコモ様からも関西のチームに参加いただいております。今後もそれぞれの事業の強みを生かした協創プロジェクトでお客様の体験を拡張して、大阪の街を賑やかにするべく、新しいエンターテインメントを発信していきたいと考えております」と李 様は語られます。今後もエンターテインメントとテクノロジー融合の可能性拡大に向け、パナソニックのプロジェクターをはじめとした幅広い技術に期待されています。



松竹音楽出版株式会社  
新規事業開発室長  
常務取締役 李 信雨 様



松竹芸能株式会社  
アメリカザリガニ 平井 善之 様

※所属は納入時のものです。



The logo features the word "Panasonic" in white and "CONNECT" in a light blue color. The "C" in "CONNECT" is stylized with a circular loop on its left side. The background is dark blue with a grid of thin light blue lines and a large light blue circular shape on the left side.

**Panasonic**  
**CONNECT**